

持続可能な社会システム実現のために、科学技術 イノベーション政策をどのように設計していくべきか ～アフターコロナ時代に向けて～



2022年3月7日

株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長

株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役社長

富山和彦

- ◆ 1990年代以降はデジタル革命×グローバル化による破壊的イノベーションの時代
- ◆ 大量生産工業化社会の設備集約産業の時代から情報化社会の知識集約産業の時代へ
- ◆ 先進国における伝統的中産階級の剥落とデジタル富裕層の勃興
 - ー デジタル富裕層が勃興しなかった日本は中産階級の剥落で相対的に貧国化
- ◆ DX x GXの時代はやはり破壊的イノベーションの時代
 - ー 今までもこれからも成長のメインエンジンは大学・研究機関とその周辺のスタートアップ
 - ー イノベーションエコシステムの本格化は必須
- ◆ 新たなフェーズのイノベーションをいかに社会的に包括的なものにするか
 - ー デジタルフォーディズム
 - ー 人的資本投資型の再分配

1989年(平成元年)

順位	会社名
1	IBM
2	エクソン
3	GE
4	AT&T
5	フィリップ・モリス
6	メルク
7	デュポン
8	GM
9	ベル・サウス
10	フォード・モーター

2019年(平成31年)

順位	会社名
1	マイクロソフト
2	アップル
3	アマゾン・ドット・コム
4	アルファベット(グーグル)
5	バークシャー・ハサウェイ
6	フェイスブック
7	ジョンソン・エンド・ジョンソン
8	エクソン・モービル
9	ビザ
10	JPモルガン・チェース

赤字:社齢30年以下、黄字:社齢30年以上かつ世界トップ